

製品名: リン酸化 CaMKII アルファ (T286) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84575

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, IHC
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000, IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 54 kDa ; Observed MW: 50-60 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-CaMKII alpha(T286)
別名	Camk2; Camk2a; Camk2b; CAMKA; CaMKII; CaMKIINalpha;;p-CaMKII alpha (T286)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P11798(mouse)(rat:P11275)(human:Q9UQM7)
免疫原	T286 のリン酸化部位周辺のマウス CaMKII α 由来の合成ペプチド

背景

Ca²⁺/カルモジュリン結合および自己リン酸化後に自律的に機能し、シナプス可塑性、神経伝達物質の放出、長期増強などのさまざま

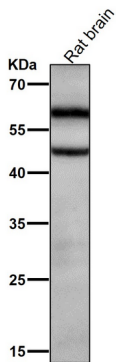
まなプロセスに関するカルシウム/カルモジュリン依存性タンパク質キナーゼ。

研究分野

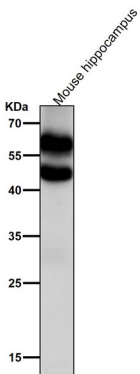
-

画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



ラムダホスファターゼ細胞溶解物で処理したマウス脳におけるホスホ CaMKII アルファ (T286) 発現のウェスタンブロット分析。

